2021 年度 白梅学園大学・短期大学 授業評価アンケート結果報告

白梅学園大学·短期大学 FD 委員会

本学では教育の質向上を目的とした点検評価活動の一環として、授業評価アンケートを2002年度(大学は2005年度)から実施してまいりました。今年度の授業評価アンケートでは、設問項目の一部見直しと学生に対するフィードバックを目的として、アンケート結果に対する教員コメントの実施を後期から始めました。実施にご協力くださった先生方には、心より御礼申し上げます。

以下、本年度の授業評価アンケートの概要および分析結果についてご報告いたします。

1. 授業評価の実施主体

白梅学園大学・短期大学 FD委員会

2. 授業アンケート評価の実施方法

(1)授業アンケートの実施と結果分析

調査の実施および集計は白梅学園大学・短期大学教務課が行った。なお、結果分析については、FD 委員会が実施した。

(2) 授業アンケートの実施方法

ア. 実施回数および方法

年度内に2回(前期と後期)、ウェブ上(学生ポータルサイト)にて行った。回答は無記名、受講学生の回答は昨年通り必須とした。

イ. 対象授業科目

全科目について実施 (通年科目、実習指導関係の授業、ゼミを含む)。

ウ. 実施時期

実施期間は、前期・後期ともに約3週間。前・後期の実施期間・回答率は以下の通りである。

| | 実施期間 | 回答率 | | |
|----|-----------------------|-------|-------|--|
| | | 大学 | 短大 | |
| 前期 | 2021年7月12日(月)~8月3日(火) | 47.3% | 68.2% | |
| 後期 | 2022年1月7日(金)~2月2日(水) | 61.3% | 79.1% | |

エ、学生への周知

ポータルサイトから繰り返し周知を徹底した。

オ. 授業評価の結果公開

大学・短大全体の授業評価結果(全科目の総合集計結果)のみを本学HP上にて公開する。個別集計結果についてはウェブ公開しない。なお、教員各自が担当する科目の集計結果については、集計終了後に各教員に開示した。

3. 授業評価アンケートの質問項目(2021年度版。下線は今年度用に修正した項目)

(1) 学生自身の自己評価

設問1 (学習目的) 私はこの授業で何を学ぶのかを明確に理解していた。

設問 2 (学習態度) <u>私は授業をしっかりと受講した(あるいは授業をしっかりと視聴</u>した)。

設問3(学習態度) 課題や試験の準備に真剣に取り組んだ(でいる)。

設問4(内容理解) 私はこの授業の内容を十分に理解することができた。

設問5 (総合評価) 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。

(2)授業担当者に対する評価

設問6 (授業方針) 教員は授業の方法 (WebClass 等の利用方法や機器・アプリの操作方法等を含む) や授業方針などを丁寧に説明していた。

設問7(授業方法) 教員の授業方法や使用した教材に熱意や創意工夫が感じられた。

設問8(基本項目) 教員の話し方、声、言葉は聞き取りやすかった。

設問9 (学生対応) 教員は学生の質問や相談に丁寧に対応し、トラブルの際には適切に対処していた。

設問10(総合評価) この授業の教員は総合的に評価して良かった。

(3)授業内容に対する評価

設問11(授業難易度)この授業の難易度は適切であった。

設問 12(授業方法) この授業の方法(オンデマンド・オンライン・<u>対面等</u>) は適切であった。

設問13(教科書等) この授業の教科書・配付資料・プレゼン内容は適切であった。

設問14(授業内容) この授業から新しい知識、考え方、発想を学ぶことができた。

設問 15 (総合評価) この授業は総合的に評価して良い授業であった。

(4) 自由記述

設問 16(授業内容・方法全般) 授業内容・方法や学生対応など、この授業で良かった点があれば挙げてください。

設問 17 (授業改善) 授業内容・授業方法・授業課題について改善点があれば挙げてください。また、実際に授業を受けてみて、困ったことがあれば挙げてください。

設問 18 (その他) この科目に限らず、本学の授業について意見や感想等があれば、 挙げてください。

カテゴリー (1) ~ (3) の回答選択肢は、1 : そう思う (5 ポイント)、2 : ややそう思う (4 ポイント)、3 : どちらとも言えない (3 ポイント)、4 : あまりそう思わない (2 ポイント)、5 : 全くそう思わない (1 ポイント)の計 5 段階評価とする。

3. 授業評価アンケートの結果報告

(1) 質問項目別にみる集計平均値(大学)

| 設問 番号 | 質問項目 | 前期 | 後期 | 2020後期 |
|-------|---|------|------|--------|
| 1 | 私はこの授業で何を学ぶのかを明確に理解していた。 | 4.32 | 4.40 | 4.37 |
| 2 | 私は授業をしっかりと受講した(あるいはしっかりと 視聴した)。 | 4.53 | 4.54 | 4.55 |
| 3 | 課題や試験の準備に真剣に取り組んだ(でいる)。 | 4.51 | 4.52 | 4.55 |
| 4 | 私はこの授業の内容を十分に理解することができた。 | 4.27 | 4.37 | 4.31 |
| 5 | 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。 | 4.43 | 4.47 | 4.46 |
| 6 | 教員は授業の方法(WebClass 等の利用方法や機器・アプリの操作方法等を含む)や授業方針などを丁寧に説明していた。 | 4.43 | 4.44 | 4.39 |
| 7 | 教員の授業方法や使用した教材に熱意や創意工夫が感 じられた。 | 4.44 | 4.45 | 4.39 |
| 8 | 教員の話し方、声、言葉は聞き取りやすかった。 | 4.43 | 4.47 | 4.44 |
| 9 | 教員は学生の質問や相談に丁寧に対応し、トラブルの際には適切に対処していた。 | 4.46 | 4.49 | 4.39 |
| 10 | この授業の教員は総合的に評価して良かった。 | 4.46 | 4.49 | 4.42 |
| 11 | この授業の難易度は適切であった。 | 4.33 | 4.39 | 4.32 |
| 12 | この授業の方法(オンデマンド・オンライン・対面等) は適切であった。 | 4.43 | 4.47 | 4.3 |
| 13 | この授業の教科書・配付資料・プレゼン内容は適切であった。 | 4.47 | 4.48 | 4.42 |
| 14 | この授業から新しい知識、考え方、発想を学ぶことができた。 | 4.53 | 4.55 | 4.5 |
| 15 | この授業は総合的に評価して良い授業であった。 | 4.49 | 4.51 | 4.44 |

(2) 質問項目別にみる集計平均値(短大)

| 設問 番号 | 質問項目 | 前期 | 後期 | 2020後期 |
|-------|---|------|------|--------|
| 1 | 私はこの授業で何を学ぶのかを明確に理解していた。 | 4.33 | 4.44 | 4.34 |
| 2 | 私は授業をしっかりと視聴した(あるいは授業資料を しっかりと学習した)。 | 4.52 | 4.56 | 4.53 |
| 3 | 課題や試験の準備に真剣に取り組んだ(でいる)。 | 4.51 | 4.59 | 4.5 |
| 4 | 私はこの授業の内容を十分に理解することができた。 | 4.32 | 4.44 | 4.32 |
| 5 | 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。 | 4.44 | 4.51 | 4.45 |
| 6 | 教員は授業の方法(WebClass 等の利用方法や機器・アプリの操作方法等を含む)や授業方針などを丁寧に説明していた。 | 4.40 | 4.52 | 4.37 |
| 7 | 教員の授業方法や使用した教材に熱意や創意工夫が感じられた。 | 4.36 | 4.52 | 4.38 |
| 8 | 教員の話し方、声、言葉は聞き取りやすかった。 | 4.43 | 4.54 | 4.42 |
| 9 | 教員は学生の質問や相談に丁寧に対応し、トラブルの際には適切に対処していた。 | 4.41 | 4.56 | 4.37 |
| 10 | この授業の教員は総合的に評価して良かった。 | 4.32 | 4.55 | 4.43 |
| 11 | この授業の難易度は適切であった。 | 4.40 | 4.51 | 4.37 |
| 12 | この授業の方法(オンデマンド・オンライン等)は適 切であった。 | 4.40 | 4.54 | 4.24 |
| 13 | この授業の教科書・配付資料・プレゼン内容は適切であった。 | 4.43 | 4.56 | 4.41 |
| 14 | この授業から新しい知識、考え方、発想を学ぶことができた。 | 4.48 | 4.58 | 4.46 |
| 15 | この授業は総合的に評価して良い授業であった。 | 4.44 | 4.58 | 4.45 |

前期の回答率は、大学が 47.3%で短大は 68.2%、後期の回答率は、大学が 61.3%、短大は 79.1%であった。やや大学における前期の回答率が低いものの、大学・短大ともに昨年度より回答率がやや増加している。こちらは授業内での実施アナウンスに加え、学生へのリマインドが奏功したためであると考えられる。

続いて、アンケートの結果であるが、比較のため 2020 年度後期の結果を併記した。学生 自身の自己評価、授業担当者に対する評価、授業内容に対する評価の 3 つのカテゴリーの 各設問項目において、総じて前後期とも軒並みポイントが高くなっていることは注目に値 すべき点である。昨年度は、慣れない遠隔授業の実施にあたり、学生の学びを保証するべく 各教員が四苦八苦しながら授業を実施したが、今年度は昨年度に得られた知見等から学習 管理システム(WebClass)の活用が一層促進されたこと、昨年度以上に授業改善に取り組 んだこともあり、このような高い数値結果になったと考えられる。昨年度は一昨年度よりも 高い数値が得られたわけが、今年度はさらに昨年度以上の結果となったことは非常に喜ば しい限りである。先生方のご尽力に心から感謝したい。

以下、項目毎に見ていく。まず(1)「学生自身の自己評価」における設問2「私はこの授業内容をよく理解できた」では、大学・短大ともに、他の設問項目と比べて低い数値となっている。おそらくこれと相関関係にあるのが、(2)「授業内容に対する評価」における設問11「この授業の難易度は適切であった」であろう。特に大学では前期が4.33、後期が4.39であり、他の設問項目の結果と比べて低い数値となっている。授業の難易度が結果的に理解度の低さという形となって表れていると思われる。改善策としては、例えば毎回リアクションペーパー等を実施することにより、都度、学生の理解度を把握・調整したり(但し、課題が多くならないよう注意すること)、授業をやりっぱなしにせず、学生が授業内容に関して気軽に質問できる機会を多く設定することなどが考えられる。

もう一点は、家族・地域支援学科の 2,3 年生の数値結果が、全設問項目において他学科の同じ学年より約 0.4 ポイント近く値を下げている点である。学生の基礎学力に起因するのか、科目特性なのか、はたまた授業の難易度やカリキュラム構造が原因なのか、今後原因分析をしていく必要がある。

自由記述については、そのほとんどが授業に対して好意的なものであったが、その一方で「配布資料が多い」、昨年度よりは減ったが「課題が多い」、「課題の〆切が極端に短い」、「授業で扱う分量が多く、毎回消化不良になってしまう」、「授業で扱う内容がショッキングなものが多い」、「休講連絡が遅い」、「オムニバス授業において、教員間のコミュニケーションが不足しており、教員によって言うことが異なる」等々のコメントも寄せられた。これらについては、科目担当教員がこうしたコメントを切に受け止め、改善を図っていきたいところである。

(2) 授業改善に向けての今後の課題

先生方には重ねてのお願いとなるが、授 業評価アンケートの結果には、必ず目を通

していただき、次年度以降の授業改善に役 立てていただきたい。その際、必要に応じ て、昨年度から導入している「授業支援メ ンター制度」を利用して頂ければ幸いであ る。また今年度後期から、授業評価アンケ ート結果を学生にフィードバックするた めの教員コメントを実施し、更なる授業改 善に努めている。今後も FD 委員会は、右 図の PDCA の取り組みを通して、授業の 更なる質的向上に取り組んでいく所存で ある。

☆ 計画の変更がある場合はていねいな説明 ☆ 配付資料の文字の大きさと見やすさ 教材 ☆ パワーポイントのシート送りの速さ ☆ 教科書の授業時間内で積極的な活用 ☆ 講義と演習のバランス 方法 ☆ グループワークの趣旨・目的の明確化 ☆ 映像や音声教材の選択の妥当性 ☆ 進行の授業開始時に説明 ☆ 授業時間の開始および終了の順守 進行 ☆ 聞きやすい声量とマイクの音量 ☆ メリハリのある授業展開 ☆ 授業に真摯に向き合う 態度 ☆ 学生に対する発言や評価への配慮 ☆ 学生の意見や要望を受けとめる姿勢 ☆ 評価基準の明確さ 評価 ☆ 公平で公正な評価 ☆ 評価に対する異議申し立てへの謙虚な態度 本授業アンケートの結果について、ご意

計画

☆ シラバスに示された授業計画の順守

見・ご要望等あれば、気軽に FD 委員までお寄せいただきたい。